

砺波市立梅檀野公民館

(平成21年2月11日現在)

◆事業の目的

自然豊かな牧場、青い空と緑の野山、昔の仕事などをPTA、老人会の協力をいただき、三世代交流の遊びなどを通して団体行動の規律を学ぶ。

◆事業の流れ

実施日	活動名	場 所	参加人数
8月3日(日)	親子でバスハイク	新川牧場,埋没林	48名
10月19日(日)	ふるさと教室	長尾為影塚、千光寺	50名
2月11日(水)	子どもの集い	梅檀野農村振興会館	150名

◆事業の様子

☆ 親子でバスハイク

日頃、身近でふれあえない動物に自分の手から草をやり、撫でたりして動物と触れ合える事が出来たことは良い体験であったと思います。また、魚津埋没林博物館では、過去の自然を体感し、蜃気楼の映像や資料で大自然の不思議を実感することができました。



☆ ふるさと教室

老人会、PTA等三世代が歩きながら、道に生えている草花の名前などを大人から学び、また、地区の歴史を講師より学び、戦国の跡を自分の目と足で体感しました。

☆ 子どものつどい

子どもたちは、昔の生活には欠かせなかったわらを使って、縄を作る「縄ない」を老人会の方に教えてもらい、自然のよさ、エコの意味を感じたようでした。また、三世代で食事をし、お年よりとの交流を図りました。



◆事業の成果と課題

日常、身近でふれあう事の出来ない動物との広い牧場での自然体験は、やさしい心を育み、心を穏やかにするいい体験であった。近い所であればなおさら良かった。

ふるさと教室では、自然の中で郷土の歴史を学ぶ良い機会であった。しかし、中学生の参加がなかったが、どのような方法で参加を促すかが課題である。

子どものつどいは、大勢の参加があり、三世代が一堂に集まるよい機会なので、これからも続けていく行事にしたい。